

小保方 優(群馬大学医学部附属病院 循環器内科)

【留学先】 Mayo Clinic

【テーマ】 肺動脈性肺高血圧症を合併した駆出率の保たれた心不全患者の心機能、構造、運動時の血行動態の特徴

【経過報告書】

2016年4月より米国ミネソタ州ロチェスターにある Mayo Clinic Department of Cardiovascular diseases に留学をしております。渡米して約1年2ヵ月がたち、アメリカでの生活にもだいぶ慣れてきました。

私の指導者の Dr. Barry Borlaug は駆出率の保たれた心不全(HFpEF)のスペシャリストのひとりです。レジデントの頃に、HFpEF の病態の面白さ、不思議さに魅了されて以来ずっと憧れていた Dr. Borlaug のところに留学することができ、毎日充実した日々を過ごしています。渡米前に期待していた以上のプロジェクトに関わらせてもらっており、この一年間で同僚のインド系アメリカ人とともに、たくさんの仕事をすることができました。あと1-2年程度留学を続ける予定です。帰国するまでに、可能な限り多くの知識と論文執筆のテクニック、臨床研究のノウハウを身につけ、日本での HFpEF 診療の最前線に立ちたいと考えています。

最後に、留学の御支援をさせていただきます貴学会および関係者の方々に心より感謝申し上げます。